

初めて見たお鍋のなか…

5年4組は、新しくなった家庭科室で調理実習でした。調理実習といってもご飯は耐熱ガラスの鍋で炊くことがメインでしたが、鍋のなかでお米がどんな風に動き、ご飯になっていくかを見ることのできる貴重な体験でした。現代では、スイッチひとつで勝手にご飯が炊きあがるのですが、大切な日本の文化の一側面を実感してくれているようでした。ノートの感想欄から少し紹介します。

- ・炊けた時、いいにおいがしました。食べてみるとほくほくしていました。家ではお鍋で炊かないのでとてもうれしかったです。
- ・はじめて、お鍋のなかではお米が回ったりしてるんだなあと思いました。
- ・はじめて最初から最後まで炊いたのでよかったです。ご飯を炊くのってすごく時間がかかるんだなと思いました。でも、毎日そんなことをしているお母さんってすごいなと思いました。
- ・お母さんはいつもこんなことをしてると思うとしんどいと思った。しかも、お米はとりにくかったのでもしんどかった。だからお手伝いをしたいと思った。

先生の願い

5年1組は、国語の研究授業でした。保護者のみなさんもひょっとしたら小学生の頃に学習したかもしれません。先生は、授業の前に学習の計画を立てます。(指導案と言います。)その指導案には、教材に対する考えや授業に対する先生の思いが書かれてありますが、少し紹介してみます。

- ・難語句や文量の多さから、文末や助詞、強調の言葉等に注目するといったことが難しい。
- ・めあてからそれないで心情を読み取れるような手立てをうつ。
- ・意見交流で深まったことや自分なりの思いや考えが朗読につながることを願う。

授業が始まりました。二人の進行役の子どもが他の子どもたちに意見を発表するよう促します。子どもたちはどんどん手を挙げて、発言がどんどんつながっていきます。見ていて気持ち良く感じました。しばらくすると朗読の時間になりました。自分の考えや思いが伝わるように、声の大きさ、速さ、抑揚、間のとり方など自分なりに工夫した朗読でした。先生の思いが伝わっているように感じました。

この教材は10時間かけて学習しますが、今日はその7時間目に授業でした。あとで先生に聞くと「読み取りに重きがかかりすぎていたように思います。もっと、朗読にウエイトをかけてやりたいです。」と言っていました。これから学習が進んでいくと、もっとすばらしい朗読が聞けそうで、楽しみです。(教頭)

給食ってどんなん？

先日、給食試食会を行いました。1回目はすでに終わっていましたが、給食室が新しくなり、献立も新しくなったので2回目の試食会を行いました。参加の保護者のみなさんの感想を少し紹介します。

- ・さわらの照り焼きの味付けがちょうどよく、すごくおいしかったです。ごはんもガスで炊いているからかツヤもあり、以前よりすごくおいしくいただきました。
- ・とてもおいしかったです。カロリーをおさえられている感じなのに、味がしっかりしているので家庭でも薄味を心がけたいと思います。
- ・給食がどのように丁寧につくられ、子どもたちに届いているかよくわかりました。感謝の気持ちでいっぱいです。